

OSIPP 人事統計解析センター 平成 15 年度活動報告

1. 研究成果

書籍

- (1) 松繁寿和（編）『大学教育効果の実証分析』日本評論社 2004年2月

査読付き論文

- (2) 松繁寿和、梅崎修「銀行業における女性従業員の管理職昇進：キャリアと家庭、二者択一の局面」『日本労務学会誌』第5巻 第2号, 2003年6月、pp. 44-55
- (3) 大谷剛、梅崎修、松繁寿和 「若年期の蓄積とキャリアの終盤：研究ノート」『日本労働研究雑誌』No. 517 pp. 51-63 2003年8月（執筆者3名の平等な貢献を明記、名前は逆年齢順）
- (4) 中嶋哲夫 「評価者負担が査定に及ぼす影響 —営業所長の調査から—」『日本労務学会誌』第6巻 第1号, 2004年1月、pp. 36-43
- (5) 中嶋哲夫、松繁寿和、梅崎修 「賃金と査定に見られる成果主義導入の効果：企業内マイクロデータによる分析」『日本経済研究』2004年3月（執筆者3名の平等な貢献を明記、名前は年齢順）

依頼論文

- (6) MATSUSHIGE, H. and A. Fukuda (2004), “Re-entering the Workforce after the Collapse of a Securities Firm: The Role that Age and Skill Play”, Japan Labor Review, Vol.1, No.2, pp.54-75

紀要等の学術論文およびディスカッションペーパー

- (7) 原琴乃、松繁寿和、梅崎修「国立大学文学部を卒業生した女性の就業と賃金にみる大学での蓄積と英語力の役割」『大阪大学経済学』第53巻第3号、pp. 374-390 2003年12月
- (8) 妹尾渉、松繁寿和、梅崎修 「公務員および教員の男女間賃金格差—大卒者アンケートからの調査から—」『大阪大学経済学』第53巻第2号、pp. 96-108 2003年9月
- (9) 松繁 寿和、柿澤 寿信、中嶋 哲夫、梅崎 修、岩田 憲治、井川 静恵 「賃金と査定に見られる成果主義導入の効果：マイクロデータによる分析」 OSIPP Discussion Paper DP-2003-1-005, 2003
- (10) 中嶋哲夫、「人事制度改革における変革推進と安定の確保 —成果主義を目指すA社の事例から—」 『国際公共政策研究』第8巻第2号、pp. 103-121 2004年3月

その他

(1) 賃金実務連載『統計による人事診断』第1-3回

2. 研究プロジェクト

- (1) B社における『従業員の意欲とストレスに関するアンケート』の実施と分析
- (2) D社における『早期優遇退職制度のマイクロデータ分析』
- (3) Z社における『中小企業の賃金、査定、昇格分析』
- (4) B社における『自己評価と評価結果のずれに関する実証分析』

3. 研究資金

科学研究費補助金（基盤B2）、『企業内人事マイクロデータを使用した人事施策効果の測定』、¥10,100,000、2003-2005年度（内¥4,100,000、2003年度）